

■第3次大津市食育推進計画 数値目標の国・県との比較

資料2

国、県と同一もしくは類似の目標項目を抜粋

2023.07.19

	項目	評価				備考	
		大津市	県	国	達成度		
(1) 健康	①食育に関心を持っている市民の増加						
	食育に関心を持っている市民の割合の増加	B		B	市は改善、国は改善	国 食育に関心を持っている国民の割合 県 食育に関心を持つ県民の割合の増加	
	食育関連事業数の増加	D	-	-	市は悪化		
	②朝食を欠食する市民の割合の減少						
	女性（4か月児の母親）	D	※20歳代男性	D ※若い世代	市は悪化、国は悪化	国 朝食を欠食する若い世代の割合 県 男性20歳代、男性30歳代	
	男性（20～40歳代）	D	※30歳代男性				
	子ども（小学5年生）	E	D	D ※子供	市は評価不能、国は悪化	国 朝食を欠食する子供の割合 県 小5、中2、高2	
	子ども（中学2年生）	E					
	③自分の体（健康状態）に関心をもつ市民の割合の増加						
	主食、主菜、副菜を合わせた食事を心がけている市民の割合の増加	A	※20歳代男性 ※20歳代女性 ※30歳代男性 ※30歳代女性 ※40歳代男性 ※40歳代女性	D ※国民  D ※若者	市は達成、国は悪化	国 主食、主菜、副菜を合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民/若者の割合 県 バランスのとれた食事に気を付けている人の割合の増加/20歳代男女、30歳代男女、40歳代男女	
	特定健康診査の受診率の増加	D	-	-	市は改善		
	④適正な体重を維持している市民の増加						
	BMIが25.0を超える40～64歳男性の割合の減少	C	※20～60歳代男性	-	市は悪化	国 - 県 肥満者の割合:男性20～60歳代	
	BMIが18.5未満の20～39歳女性の割合の減少	B	※15～19歳女性 ※20歳代女性	-	市は改善	国 - 県 やせの人の割合:女性15～19歳、女性20歳代	
	⑤歯を大切にしている市民の増加						
	歯周病検診の受診率の増加(大人)	A	-	-	市は達成		
	(2) 環境	①体験を通して自然の恵みに感謝する・環境に配慮する市民の増加					
		環境に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加	A		B	市は達成、国は改善	国 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合 県 -
		農水産業を体験する市民の増加	A		B	市は達成、国は改善	国 農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合 県 -
②学校給食における地場産物を使用する割合の増加							
食材数ベース（市内産・県内産）		D	-	D	市は悪化、国は悪化	国 食材数ベース	
食材数ベース（国内産）		A	-	D	市は達成、国は悪化	県 -	
③食品の安全性や衛生に関する基礎的な知識や食品を選択する知識を持っている市民の増加							
関連事業に参加する市民の増加		A	-	-	市は達成		
(3) 伝統		①食文化や行事食を大切にしている市民の増加					
		朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	C	D	B	市は横ばい、県は悪化、国は改善	国 - 県 -
	②地域の食文化を伝承する市民の増加						
	地域や家庭で受け継がれてきた料理や味を伝承している市民の増加	B		B ※国民  A ※若者	市は改善、国は改善 市は改善、国は達成	国 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合/若者の割合 県 -	
	③食育の推進に関わるボランティア活動に関心のある市民の増加						
	健康推進員養成講座の年間受講者数の増加	D	-	-	市は悪化		
	食育の推進に関わるボランティアの増加	D		B	市は悪化、国は改善	国 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数 県 食育ボランティア数の増加	

A：達成 B：策定時と現状値を比較して改善 C：横ばい D：策定時と現状値を比較して悪化 E：評価不能  
☆国の評価は国の出している数値を基に市にて仮で判定入力したものと